

## 令和2年度山形県食品安全モニター及び適正表示ボランティア活動実績

令和2年7月より、食品安全モニター23名(内2名は途中辞退)、適正表示ボランティア20名が活動を行い、県内の食品販売店の表示の状況についてモニタリングしていただきました。10ヶ月間の活動の実績は次のとおりです。

(参考) 令和2年度食品安全モニター 委嘱者数 23名(内2名は途中辞退)  
 令和2年度適正表示ボランティア 登録者数 20名  
 委嘱期間 令和2年7月から令和3年2月まで

報告月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
うちモニター		21	21	21	21	21	21	21	21	168名
うちボランティア		0	0	0	2	0	0	0	0	2名
訪問店舗数		66	68	67	69	58	64	65	69	526店舗
指摘店舗数		10	10	4	6	0	2	4	2	38店舗
指摘品目数		16	13	4	6	0	2	5	2	48品目
指摘品目の 内 訳	農産物	12	8	4	3	0	1	0	1	29品目
	畜産物	0	0	0	1	0	0	0	0	1品目
	水産物	2	4	0	0	0	0	1	0	7品目
	その他	2	1	0	2	0	1	4	1	11品目
不適正表示確認店舗数		4	3	1	3	0	1	1	0	13店舗
不適正表示確認品目数		5	4	1	3	0	1	1	0	15品目

不適正表示確認店舗数・・・県がモニター及びボランティアからの報告を受けて店舗を訪問した際に、報告どおりの不適正表示が確認された店舗の件数

不適正表示確認品目数・・・報告どおりの不適正表示が確認された食品の件数

### ◆モニター及びボランティアからの報告に基づき指導を行った主な事例

モニター及びボランティアからの毎月の報告に対し調査を行ったところ、指摘どおりの不適正表示が13店舗で15品目確認され、適正な表示を行うよう指導しました。

なお、主な事例は次のようなものでした。

- ・陳列されている野菜とは違う野菜名の表示になっていたため、適正に表示するよう指導した。
- ・POPと商品で原産地の表示が異なっていたため、適切に表示するよう指導した。
- ・水産物の採取水域の表示がなかったため、適切に表示するよう指導した。